

第3号様式

令和6年度 京都府立大学地域貢献型特別研究（府大 ACTR）成果概要報告書

分類 番号	5	取組 名称	城陽長池宿を中心とする山城地方旧宿場町の観光資源化に関する 文理融合的研究
研究代表者所属・職名：教授		氏名：山口美知代	
研究担当者： 京都府立大学（山口美知代、青地伯水、福井亘） 外部分担者・協力者（立木克也氏、生駒一憲氏 ほか）			
主な連携機関 （所在市町村、機関（部署）名）			
城陽市都市整備部、長池まちづくり協議会			
【研究活動の要約】			
旧長池宿および旧大和街道について景観学研究の立場から見ると現状では街道の雰囲気は残照的にまだ残っているものの、往時の建築物などが少なくなっていることがわかった。一方で、カラー舗装の取り組みがかつて街道であったことを指し示すものとして有効であることが指摘できる。今後への提言として、可能であれば、現在残存している往時の木造建築物の保存および、新規に建築されるものにおいて旧街道を感じさせられるような外構、ファサードを構えること、石柱や地藏尊を保存することで旧長池宿の風景が復活できる可能性を示唆した（報告書参照）。また、1964年の東京五輪時に聖火リレーが長池宿を通ったことを振り返り、地域の記憶を喚起共有する勉強会を行った。今後に向けて、駅前広場活用の議論に加わり、社会実験に参加した。			
【研究活動の成果】			
旧長池宿と旧大和街道についてのフィールドワークを景観学研究からの提言を行った（報告書参照）。 旧長池宿および旧大和街道の役割のふりかえりとしての勉強会（長池まちづくり協議会・京都府立大学合同勉強会）「街道と聖火リレー」を開催した（報告書参照）。東京五輪 2020 開催時に振り返る予定であった東京五輪 1964 の聖火リレーの振り返りを行うことができた。長池公会堂で開催し、長池まちづくり協議会月例会と兼ねて行った。1964 年の五輪聖火リレーで長池宿地域を走った走者の方（東京五輪 2020 でも聖火リレー走者を務める）が参加され、記録動画を見せてくださったので、当時の様子を詳しく知ることができた。 長池駅前公用地活用のためのタウンミーティング参加と、社会実験としての活用参加。タウンミーティング参加者とともにビブリオバトルや音楽ステージというプランをたて、実行した。（報告書参照）			
【研究成果の還元】			
長池まちづくり協議会・京都府立大学合同勉強会『京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）令和6年度研究課題 城陽長池宿を中心とする山城地方旧宿場町の観光資源化に関する文理融合的研究活動報告書』発行（京都府立大学にて閲覧可能）			
【お問い合わせ先】		文学部 教授 山口美知代 E-mail: myama@kpu.ac.jp	

参考（イメージ図、活動写真等）



長池駅前広場活用社会実験参加



旧長池宿調査



長池まちづくり協議会と京都府立大学合同勉強会「街道と聖火リレー 東京五輪とベルリン五輪」で提供された 1964 年東京五輪聖火リレー走者が旧長池宿を走った写真